

# Global PBL in Malaysia

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年12月08日 ～2019年12月17日	マレーシア	マレーシア工科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械機能工学科、機械工学科、機能制御システム専攻、地域環境システム専攻、国際理工学専攻、機械機能工学科、材料工学科、応用化学科、機械機能工学科</li> <li>・修士1年生、学部4年生、修士2年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生10名、教員2名 (マレーシア工科大学) 学生23名、教員1名	前田 真吾(機械機能工学科)、細矢 直基(機械機能工学科)



図1

我々は研究型のgPBLを実施するために、マレーシア工科大学のProf. Ahmad Athif Mohd Faudziの研究グループと誘電エラストマーアクチュエータ(DEA)と空気圧アクチュエータに関する活動を実施した。参加学生は前田研究室と細矢研究室の学部生と大学院生で構成された。我々とHindustan Institute of Technology and Science(インド)からVisiting Professorの3名が講演し、最先端研究について議論した。UTMの教授、執行部の方々とミーティングし、UTMと芝浦工大との良好な関係を構築することに貢献した。PBL活動では複数の導電性粉体をエラストマーに物理的に吸着させ、DEAの駆動条件を実験し、議論をした。UTMと芝浦工大の学生らが相互理解を深めるために、お互いの研究内容をプレゼンと質疑応答形式で行った。空気圧アクチュエータについては、先方が得意とするファブリケーションのプロセスを学び、今後の展開と共同研究の可能性について議論をした。



図2



図3



図4



図5



図6



図7